

SC番号 : JTC1/SC 34 規格番号 : ISO/IEC FDIS 19757-3 投票期限 : 2006-04-01
規格名称[英文] Document Schema Definition Languages (DSDL) – Part 3: Rule-based validation – Schematron
規格名称[和文] 文書スキーマ定義言語(DSDL) – 第3部：規則に基づく検証 - スキマトロン
規格案の概要 Schematron は，文書部品間または複数文書間の一貫性制約はほとんど記述できないというこれまでのスキーマ言語の機能を補うものであり，一貫性制約だけを記述するスキーマ言語であって，XML 文書の構造及び内容に関する制約記述機構を提供する。主な規定項目は次のとおり。 - 構文 - XML 文書の Schematron スキーマに対する妥当性 - Schematron スキーマにおける他のマークアップ語彙の利用 - 適合性 - Schematron スキーマの構文を RELAX NG で定義したスキーマ - Schematron スキーマの構文を Schematron で補足したスキーマ - Schematron スキーマに基づく妥当性検証レポート
回答案 [該当する項目に を記入すること] () 賛成 () 反対 () 棄権 コメント (賛成の場合は Correction のみ，反対の場合は必須) () 有り () なし
回答案の理由 日本の要求は既に FCD 投票に際して提出し，FDIS テキストに反映されている。 FDIS 19757-3 については，既に実装が稼動し，機能と動作が確認されている。
コメントの主旨 [コメントがある場合]* <u>英文コメントはテンプレートに記載の上，添付すること</u>
[該当する項目に を記入すること] WGへの対応 : 参画の有無 () 参加 () 不参加 最終CDへの対応 : () 賛成 () 反対 () 反対(条件付き) () 棄権 我が国からの提案 : () JIS(番号) () その他()
JISへの対応 [該当する項目に を記入すること] 1. 対応する JIS がない場合 JIS を制定する 必要がある () 必要はない() (理由) 政府文書の電子化への利用が予定されている。 2. 対応する JIS がある場合 (JIS 番号) (1) JIS を改正し国際規格と整合させる必要がある () (理由)

(2) JIS を改正する必要はない
(理由)

()

審議団体名 : (社) 情報処理学会 情報規格調査会

回答案作成者 (又は回答案責任者) の氏名、所属及び連絡先

氏名 : 小町 祐史 所属 : 大阪工業大学 情報科学部

電話番号 : 090-3522-4338 E-Mail : komachi@y-adagio.com

<参考> 制定する国際規格について次の設問にも回答して下さい。

この国際規格は国内でどの程度使用されるか、該当する()に 印をつける。

(1) 国内で使用される ()

(2) 国内では使用されない ()

(3) 不明もしくはどちらともいえない ()

コメント(上記設問の回答に付すコメントがあれば):